

平成21年度広島市立広島特別支援学校第1回学校協力者会議概要

1 日 時 平成21年6月25日(木) (10:00～11:30)

2 場 所 校長室

3 内 容

- (1) 学校長あいさつ
- (2) 配布資料確認
- (3) 運営規定説明
- (4) 委員・学校事務局員紹介
- (5) 委員長・副委員長の選出 所属部会の決定、部長の選出
- (6) 委員長あいさつ
- (7) 協議
 - ① 校長より学校の現状についての説明
 - ・ 学校経営方針
 - ・ 児童生徒の状況
 - ・ 進路状況について
 - ・ センターの機能について
 - ・ 建替について
 - ② 意見交換、提言等
 - 学級編制について
 - ・ 学級編制については今年度改善されたと捉えている。改善と捉えられていないとすれば説明不足である。
 - ・ 実態別編制は必要である。重度の生徒には手厚い支援が必要だが、就労を目指す軽度の生徒には人的な手厚い支援は力をつけることにならない。一人で活動できるようにするための計画的な支援が大切である。
 - 引継ぎ等の課題
 - ・ 指導を見ていて担任や出身校との引継ぎが確実にできていないと感じることがある。教育支援計画の活用も踏まえ、今後の課題であろう。
 - 専門性の向上について
 - ・ プロ意識の向上がないと専門性の向上には結びつかない。学校として教員の専門性の向上及び資質の向上ための取組を期待している。
 - 地域との結びつきについて
 - ・ 地域の方に学校の活動を知っていただくための取組が必要。
 - 建替について
 - ・ 保護者の意見は児童生徒の生活に密着しているので大変参考になる。
 - ・ 自閉症の児童生徒に対しての構造化や肢体不自由の児童生徒の教室の整備等、教育の中身をしっかりと考えておく必要がある。
 - ・ 構造化も含め、児童生徒が手がかりを使って自分で活動できるようになれば、教員が常に側に付いて指導する必要もなくなり、手厚い支援が必要な生徒の指導の充実を図ることができる。
 - ・ アメリカの自閉症学校の校舎の構造化等についての資料提供をしたい。
- (8) 委員長あいさつ
- (9) 学校長あいさつ